

2021/2/1

厚生労働科学研究費 難治性疾患等政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(久松班)

Summary of Surveillance Epidemiology of Coronavirus Under Research Exclusion (**SECURE-IBD**)

JAPAN IBD COVID-19 TASKFORCE MEMBER

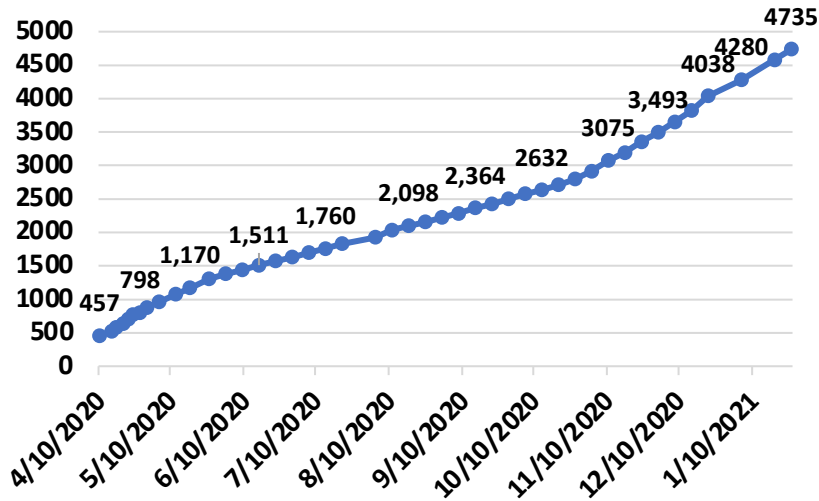
松本主之 松岡克善 松浦 稔 大宮直木
飯島英樹 平井郁仁 石原俊治 仲瀬裕志
久松理一

Brenner EJ, Ungaro RC, Colombel JF, Kappelman MD.
SECURE-IBD Database Public Data Update.
covidibd.org. Accessed on JAN /26/2021.

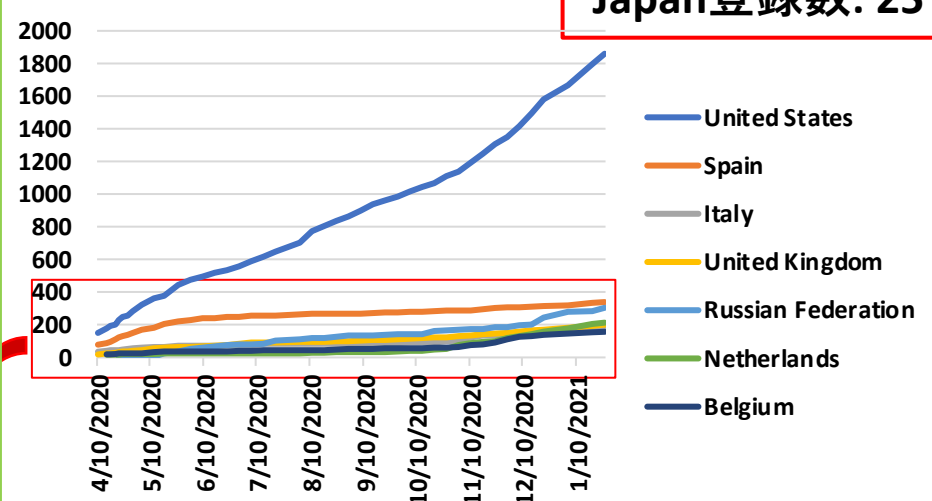
COVID19感染IBD患者登録数の推移

登録数上位7カ国

total numver (Overall)



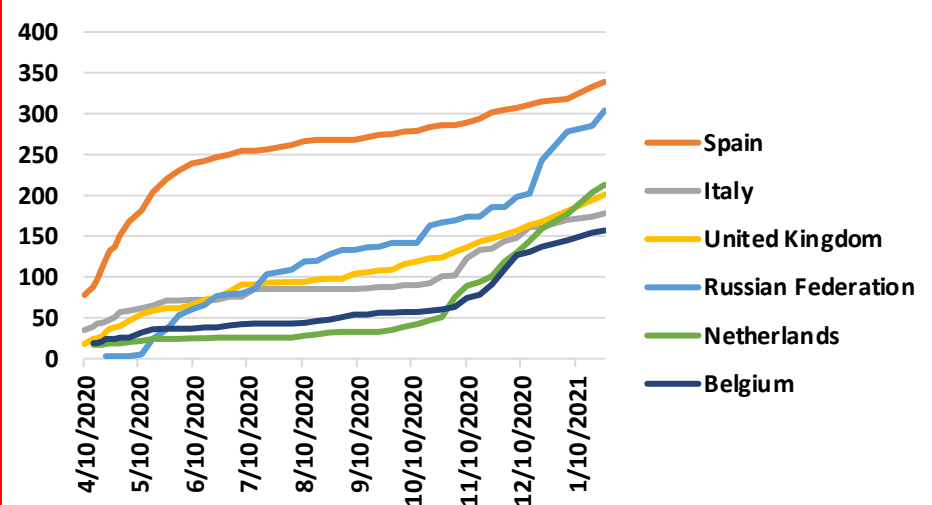
country



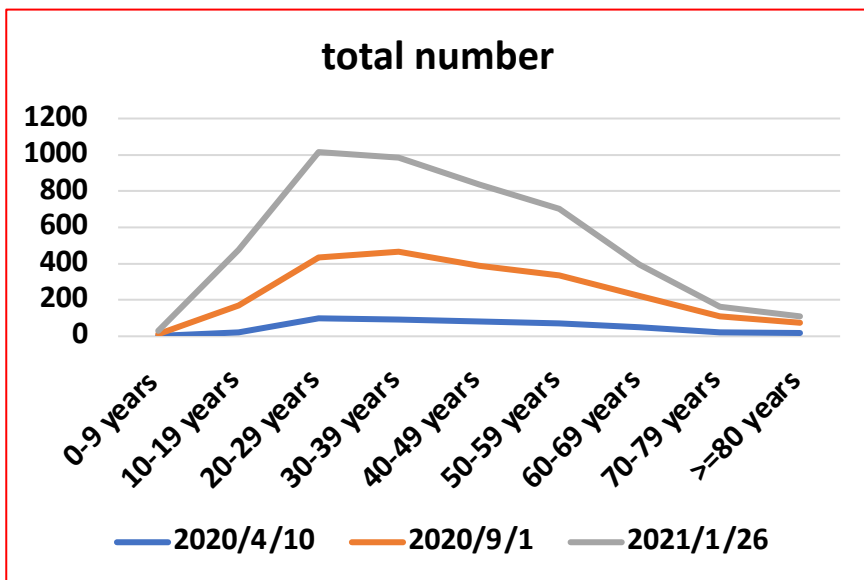
➤ COVID-19感染IBD患者の登録数は増加傾向が続いている。

➤ 最近の登録数の増加の主体は、アメリカであるが、この3か月はヨーロッパ(特にオランダ)やロシアの登録数も再度増加傾向となっている。(最近の登録数が多くないFrance、Brazilを除外した)

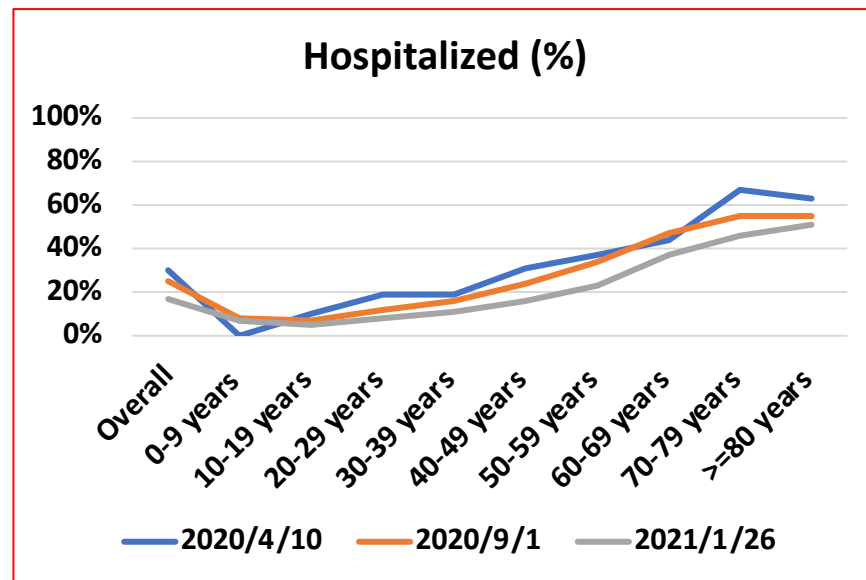
country



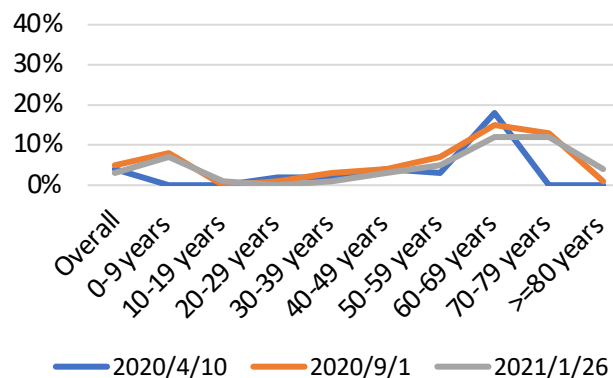
感染患者の年齢分布



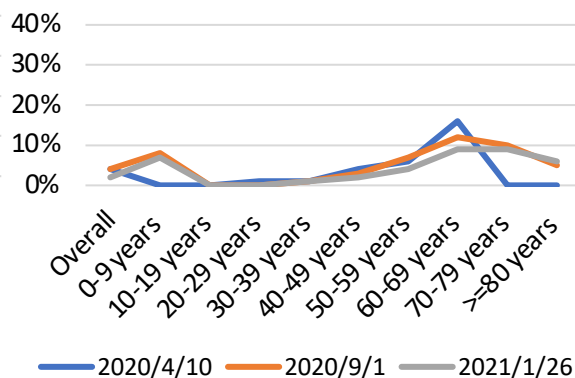
入院患者年齢分布



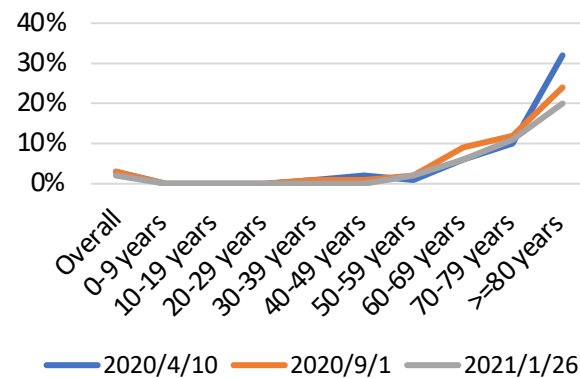
ICU (%)



Ventilator (%)

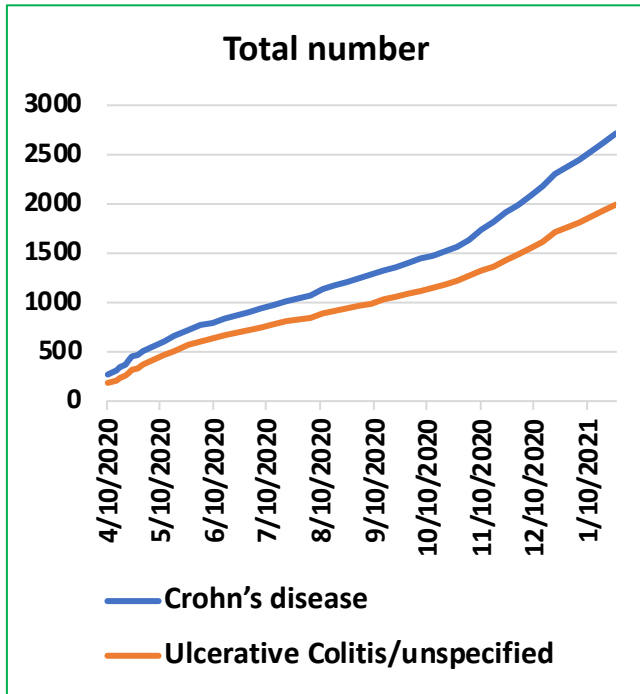


Death (%)

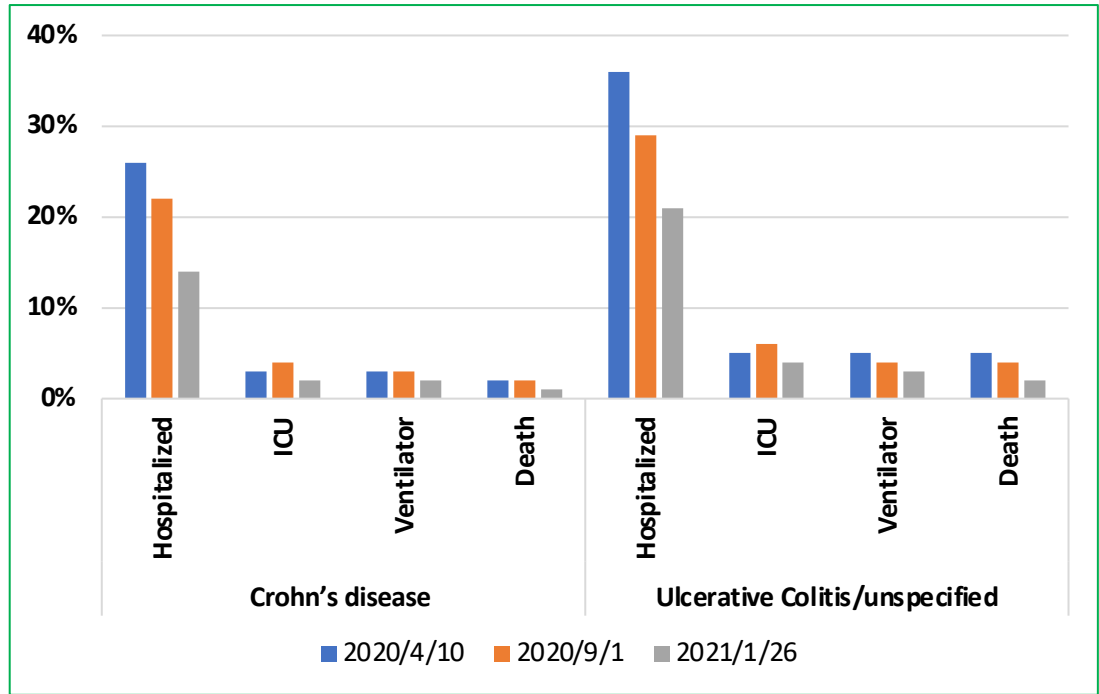


- 0-9歳は母数が少ないため評価が難しい。
- 高齢者の高い死亡率は現在も減少しておらず、60歳以上で高値となる。
- 最近重症化率の低下はあまり見られないが、入院率は低下傾向である。

疾患別患者数



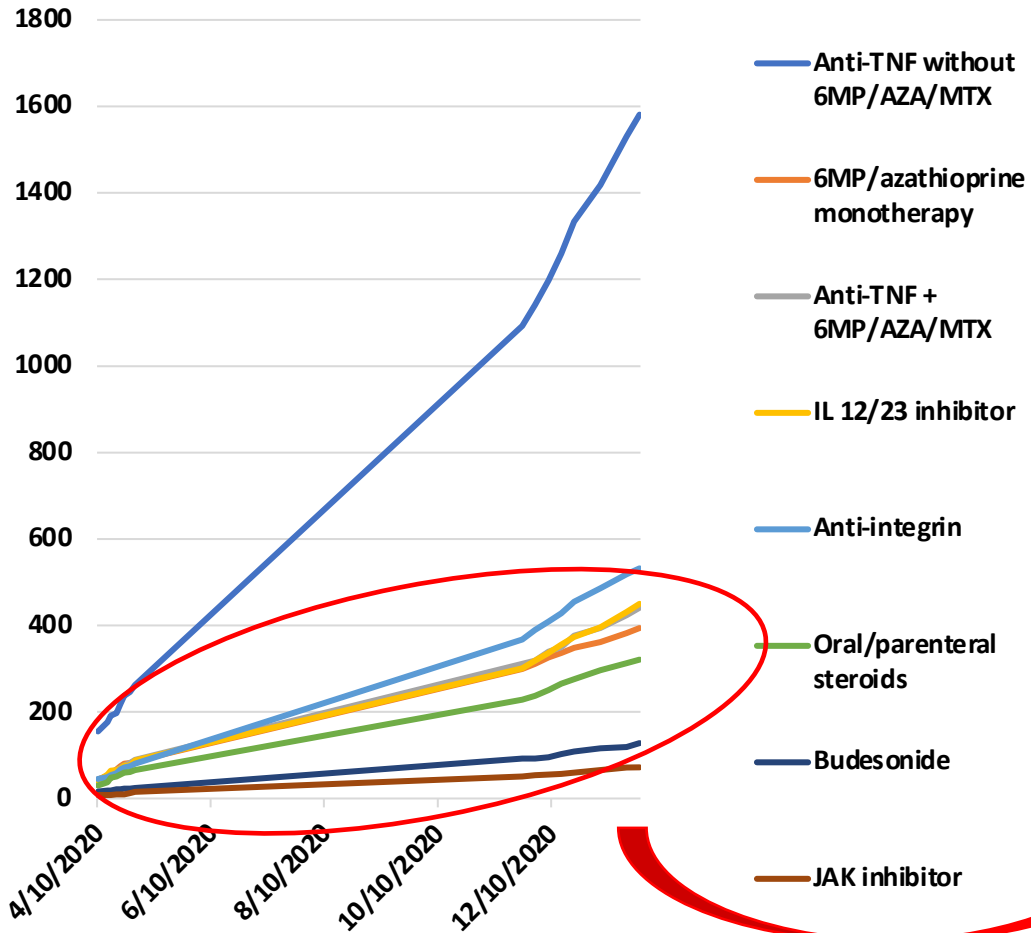
疾患別重症度の割合



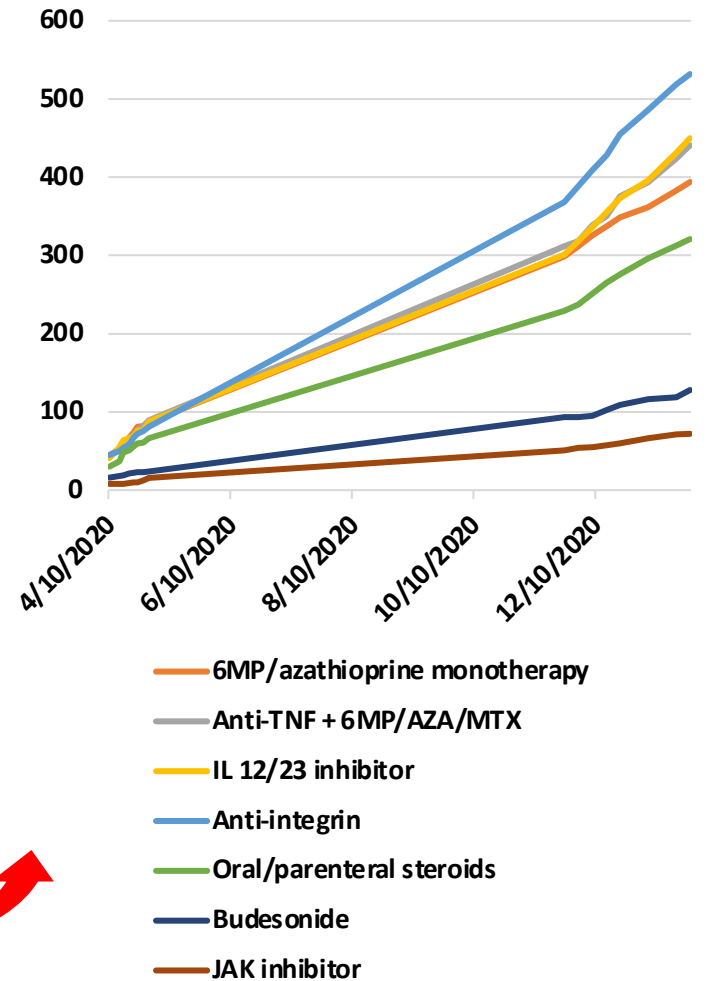
- 入院率、ICU管理率、人工呼吸器管理率、死亡率に関して、その差は大きくないものの、クローン病よりも潰瘍性大腸炎の方が高値が続いている。

治療別の患者数

Total number



Total number



➤ JAK inhibitorの登録数は緩徐ではあるが増加傾向である。

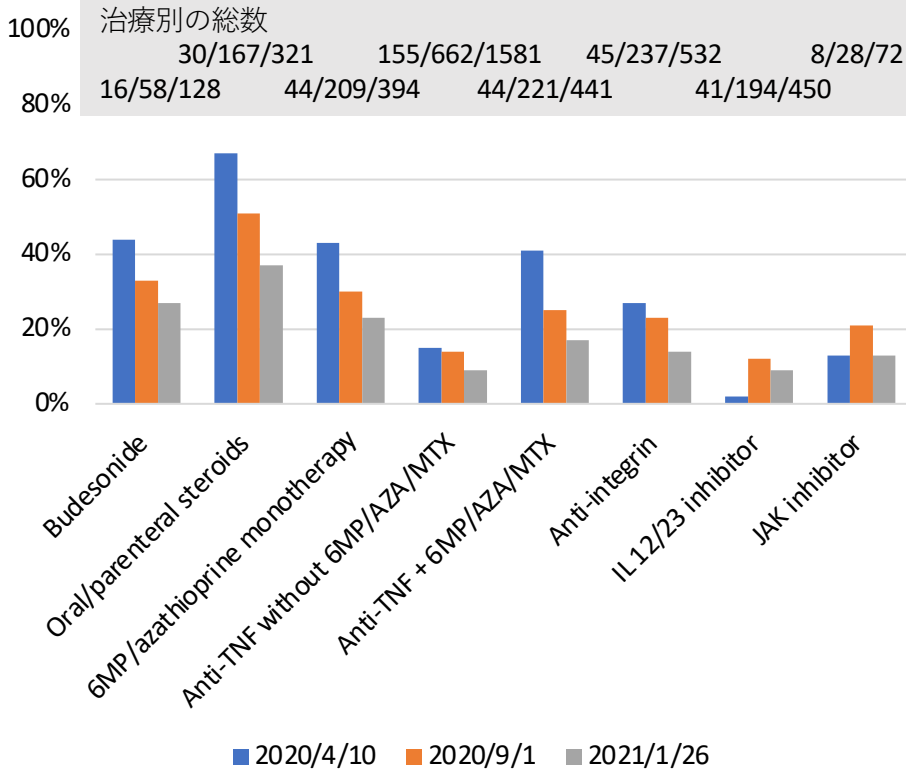
治療別の入院率の推移

治療別の総数と入院率

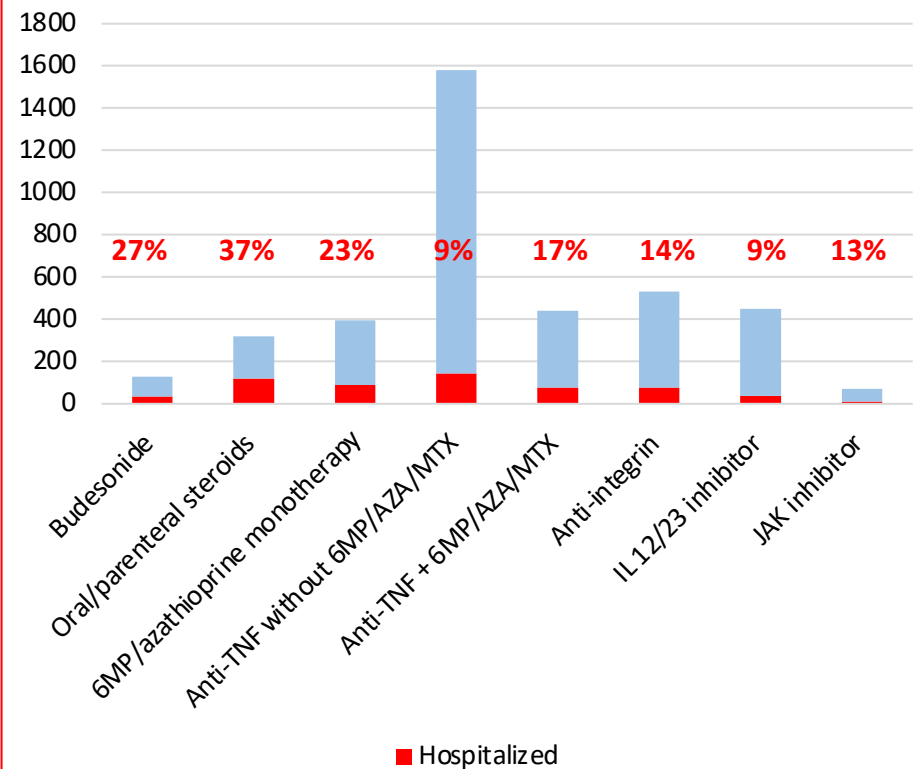
Hospitalized (%)

治療別の総数

30/167/321	155/662/1581	45/237/532	8/28/72
16/58/128	44/209/394	44/221/441	41/194/450

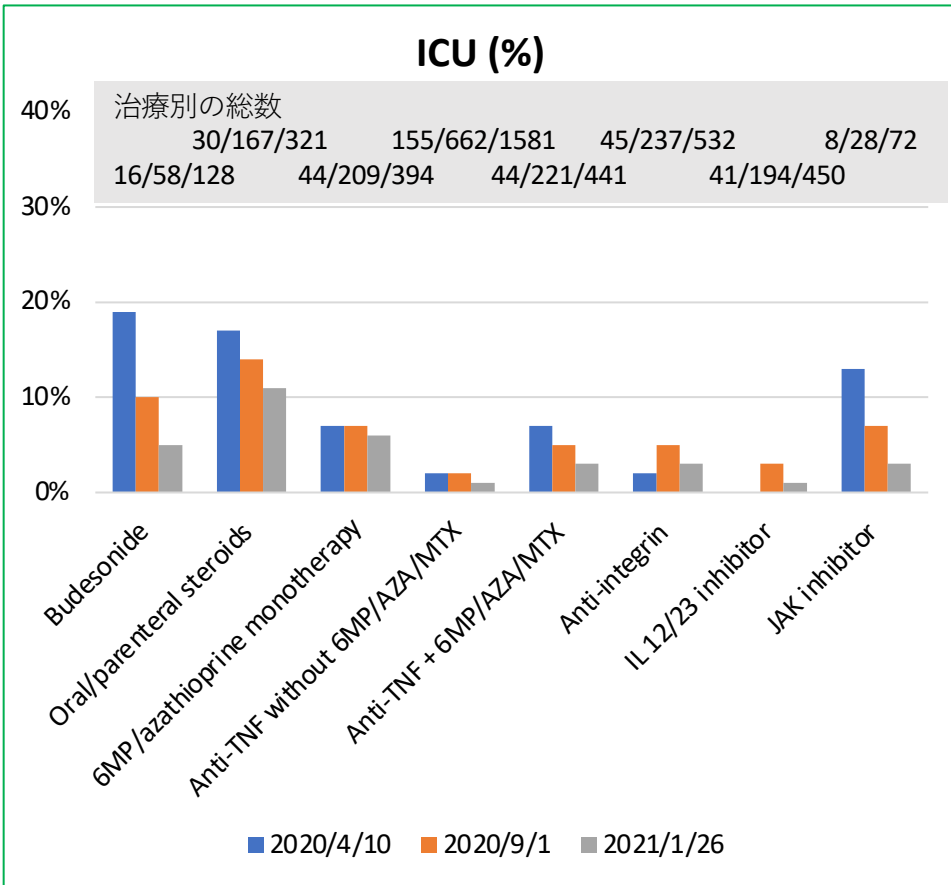


2021/01/26

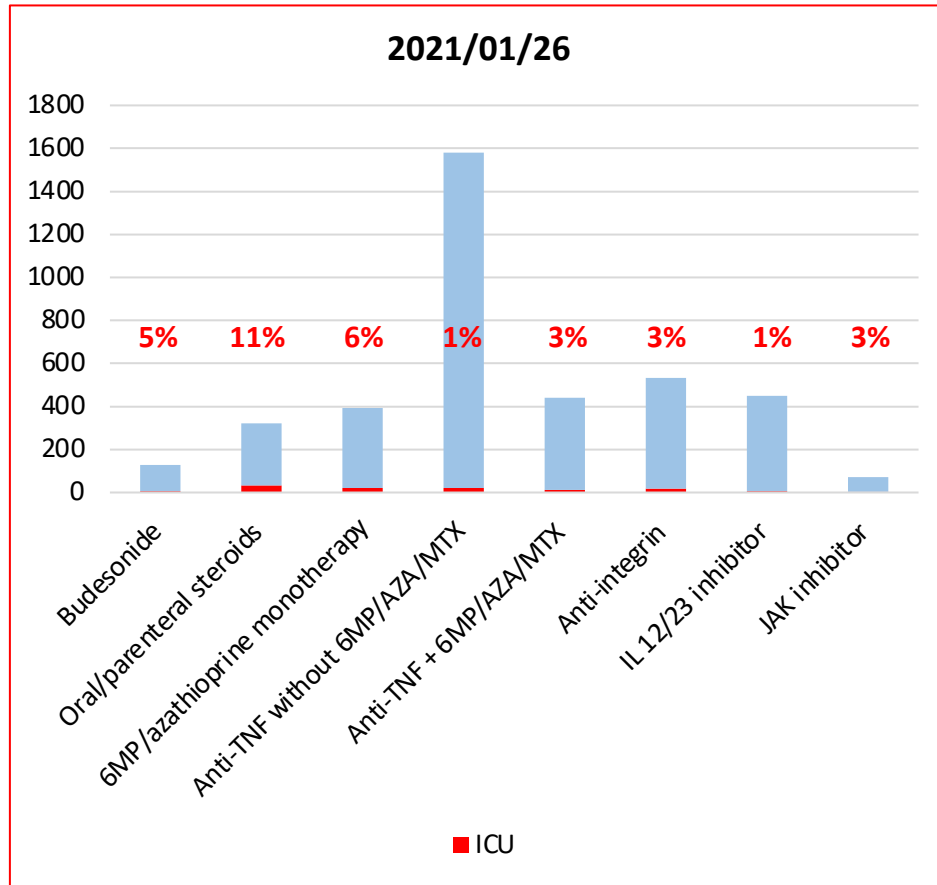


- 入院率はsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXとIL 12/23 inhibitorで低値である。
- Budesonideの入院率はOral/parenteral steroidsよりはやや低値であるが、他の治療と比較すると高値である。
- 6MP/azathioprine monotherapyの入院率は、steroidsやBudesonide次いで高値である。

治療別のICU管理率の推移



治療別の総数とICU管理率



- ICU管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXやIL 12/23 inhibitorで低値である。
- BudesonideのICU管理率はOral/parenteral steroidsよりは低値であるが、他の治療と比較するとやや高値である。
- 症例数の増加に伴い各治療のICU管理率は低下傾向である。

治療別の人工呼吸器管理率の推移

治療別の総数と人工呼吸器管理率

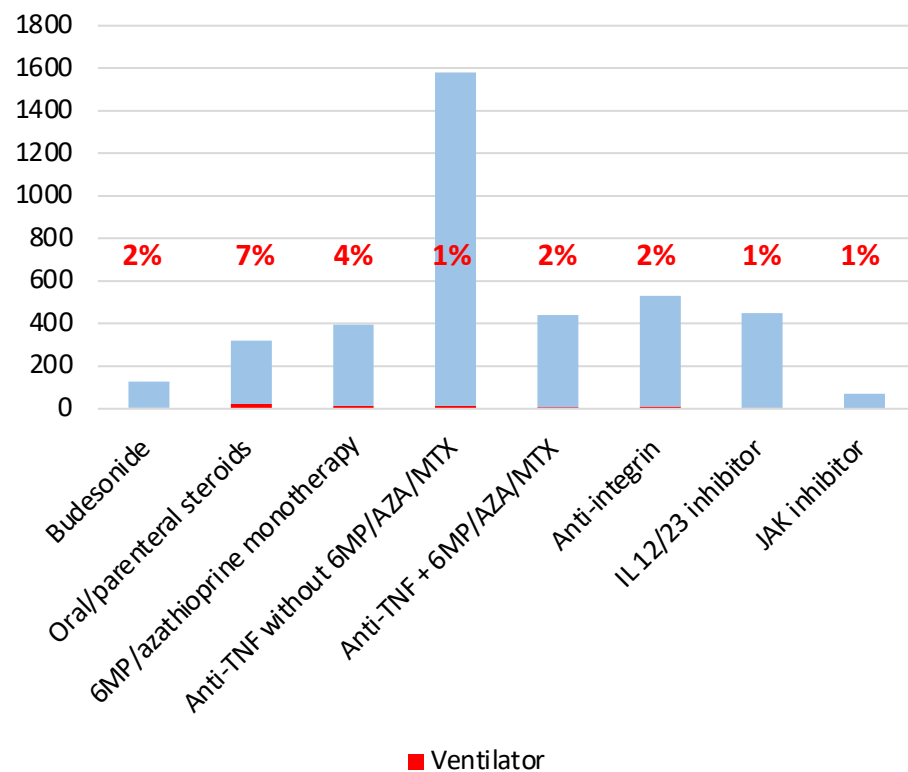
Ventilator (%)

治療別の総数

30/167/321	155/662/1581	45/237/532	8/28/72
16/58/128	44/209/394	44/221/441	41/194/450



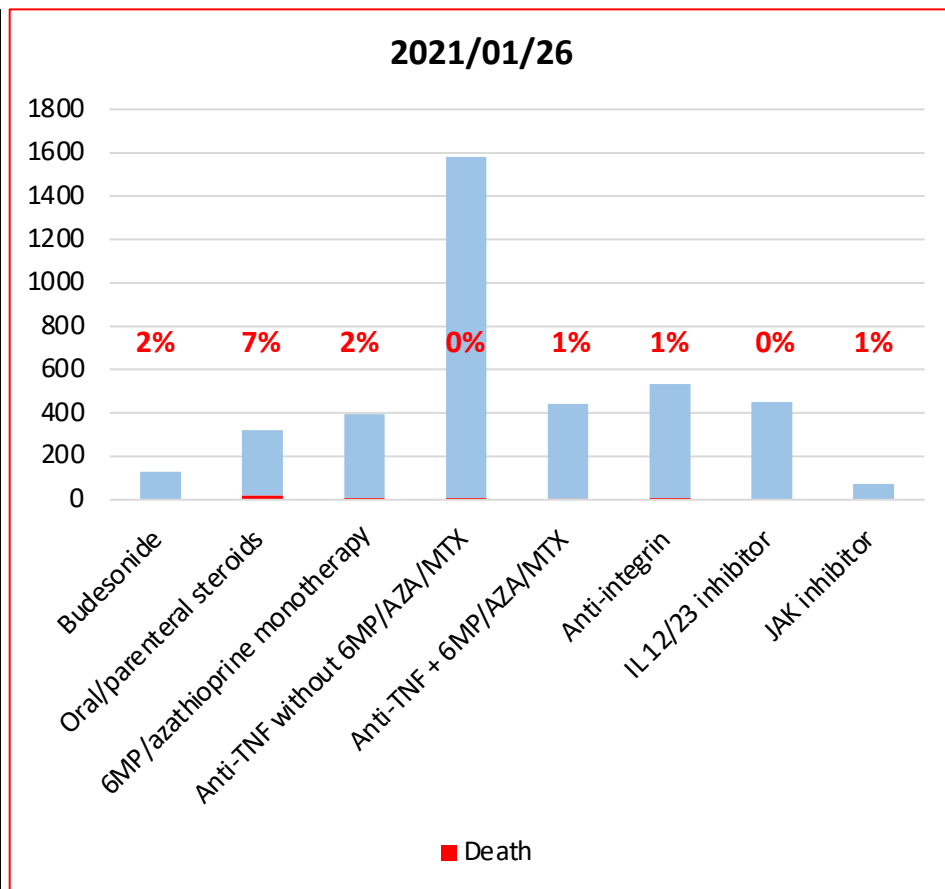
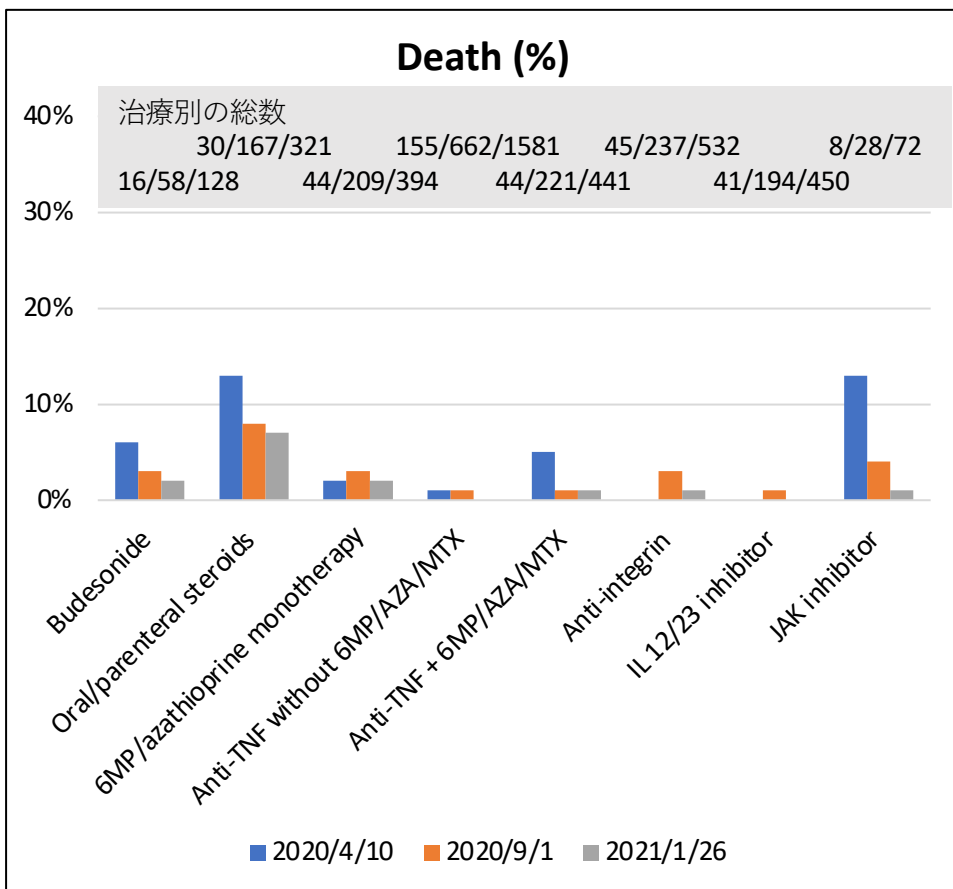
2021/01/26



- 人工呼吸器管理率もsteroidsで高値、Anti TNF without 6MP/AZA/MTXやIL 12/23 inhibitorで低値である。
- Budesonideの人工呼吸器管理率はOral/parenteral steroidsと比較すると低値であり、他の治療と比較してもそれほど高値ではなくなってきた。
- 症例数の増加に伴い各治療の人工呼吸器管理率は低下傾向である。

治療別の死亡率の推移

治療別の総数と死亡率



- 死亡率はsteroidsで高値である。
- Budesonideの死亡率は他の治療よりはやや高値ではあるが、Oral/parenteral steroidsと比較すると低値である。
- 他の治療の死亡率は症例数の増加に伴い低下傾向である。